

ジーエスワン

ジャパン

# GS1 Japan News

一般財団法人 流通システム開発センター

GS1標準で、安全・安心、効率的なサプライチェーンを推進します

第25号

2024年3月



2023年度 GS1 Japan 情報交換会を開催 ..... P.2 ~ 3

GS1 バーコードで出荷精度 99.99999% ..... P.4

GS1 事業者コード申請手続きに関する Q & A ..... P.5

「GS1 Japan Data Bank -商品情報-」に関する Q & A... P.6

サプライチェーン可視化のための GS1 標準  
EPCIS に関する Q&A ..... P.7

# 2023 年度 GS1 Japan 情報交換会を開催

## — イオン DX 推進担当によるデジタルトランスフォーメーションの紹介 —

### 情報交換会を開催

GS1 Japan は 2023 年 12 月 14 日、明治記念館（東京・港）で 2023 年度 GS1 Japan 情報交換会を開催し、多くの団体や企業から 300 名近い方々に参加いただいた。

講演会と懇親会で構成する本会は、当財団が推進する事業に協力いただいている各関係方面の皆さまと意見交換し、親睦を深める場として毎年 12 月に開催している。

講演会開会のあいさつで当財団の迎陽一会長は、2023 年は商品識別のためのバーコードが標準化されてからちょうど 50 年目に当たることに触れた他、現在当財団が取り組んでいる商品データベースの充実や二次元シンボルの POS での利用可能性などを紹介した。

懇親会では、毎年、当財団の事業活動に協力いただいた外部の方の中から、特に流通情報システム化の推進に功績が顕著であった個人や団体に、当財団から感謝の意を示す表彰式を行っている。今年度は個人 3 名に加え 1 団体を表彰した。

### イオン(株) 菓子豊文氏が講演

講演会では、イオン(株) DX 推進担当の菓子豊文氏をお迎えし、「イオンのデジタルトランスフォーメーション」と題して、イオングループの DX 進捗や将来環境の予見などについてお話いただいた。菓子氏の講演概要は以下の通りである。

### イオンの DX 進捗

イオンは 300 を超える企業で構成されるグループ。イオンと言えばリアル店舗、と思われる方が多いかもしれない。しかし、モールや

GMS、SM、ドラッグストアなどのリアル店舗の運営だけでなく、E コマースやエンターテインメント、銀行なども含め、非常に多くの事業を展開している。



イオン(株) 菓子豊文氏

そんなイオンが目指しているのは一貫性を持った顧客体験の提供である。これまでイオンでは、お客様とのつながりは店舗ごと、サービスごとだった。つまり個社単位ではお客様の属性や購買・利用履歴を把握することはできていたものの、グループとしてデータの利活用ができていなかった。しかし今後はさまざまな事業を展開するグループとして、各社から収集したデータをリアルタイムで連携させ、そこから見えるお客様の人物像や生活スタイルをしっかりと理解し、一人一人のお客様に合わせた付加価値の高い商品やサービスを提供していく。

中期経営計画に沿って 2021 年度からお客様とのタッチポイントを増やしデータ連携の基盤構築に尽力した結果、現在では、グループ全体で DX 推進体制が確立できつつある。

グループ内の DX 推進の事例として、顧客体験の面からは、イオンネクストの Green Beans(24 時間稼働の完全自動倉庫から配送するネットスーパー) 始動、セルフレジや電子棚札といった店舗アセットの強化、グループトータルアプリ

iAEON 導入による ID・データ統合など多方面から取り組んでいる。データ活用環境整備として、顧客 ID と同様に、私どものビジネスの根幹となる、商品マスターの整備を進めている。この取り組みにおいては、イオングループだけにとどまらず、世界標準に引き上げることが重要であり、GS1 と今後も連携していきたいと考えている。

### 今後の方向性とイオンの考えるデジタルとは

これまでイオングループの話をしてきたが、現在起きているデジタル環境の変化をどう捉えるべきか考えてみたい。

デジタルにおける競争優位性の確保のためには、まずは先行投資が不可欠と言える。世界に目を向けると、例えば、マイクロソフトは 2019 年に OpenAI に 10 億ドル投資した。ChatGPT が公開から 2 ヶ月で 1 億人のユーザーを獲得したことを考えると、その投資は十分に回収できているだろう。

では日本を取り巻く環境はどうか。少子高齢化に伴う労働人口の減少、買い物難民の増加、リアルからデジタルへ、自律よりも他律、といった変化が起きている。

近い将来、年代に関係なく誰もがスマートフォンを使って常に情報を得るようになる。すでに Z 世代やミレニアル世代は、インフルエンサーや友人などが「いいね」するモノ・コトに関心を持ち、購入するという他律的消費の傾向も高まっている。



このような状況下で、必要なのは生産性の高い次世代の働き方、顧客体験の最大化、そして企業変革である。

イオンは、AI カメラや電子棚札、アプリといったデジタルツールの活用と、そこから取得できるデータの分析、そしてデジタル人材の育成の組み合わせでグループ全体の生産性向上と顧客体験の最大化を目指す。

デジタル人材については、高度な専門知識を持つデータサイエンティストだけでなく、一般の従業員もセミナーや e-Learning を通して広くリスキングして、既存業務に活用していく。

イオンが考えるデジタルシフトとは無駄や不便を取り除くだけではない。お客様も従業員も誰もがより自分らしくいるための「ゆとり」を生み、人間らしいつながりを損なわない、むしろつながりを強めていくデジタルであると考えている。

## 流通システム化貢献者表彰

前述の通り、懇親会で行われた貢献者表彰では個人部門3名と企業・団体部門1団体へ感謝状と記念品を贈呈した。

表彰された方々のお名前と企業名、功績は以下の通りである。

### 八十島幹夫氏 (株)ジャパン・インフォレックス 専務取締役)

2009年の流通BMS協議会設立時より流通BMSの普及に貢献いただいている。また、当財団が事務局を務める情報志向型卸売業研究会では、運営の提言や支援をいただいている他、当財団が主導する商品情報利用と普及のための検討会に参加いただき、GS1 Japan 産業横断レジストリーの構築と普及推進に貢献いただいている。



左から 京都第二赤十字病院 田中聖人氏  
サクラグローバルホールディング(株) 原山秀一氏  
GS1 Japan 迎陽一会長  
株)ジャパン・インフォレックス 八十島幹夫氏  
慶応義塾大学 Auto-ID ラボ・ジャパン 三次仁氏 (代表村井純氏の代理)

### 原山秀一氏 (サクラグローバルホールディング(株) ガバメントアフェアーズ 担当部長)

20年以上の長きにわたり、医療機器のコード標準化、流通改善、IT促進などに大きく貢献され、特に、医療機器などへのバーコード表示においては、その推進に尽力された。現在も国内外の医療機器における標準化や、サプライチェーンならびに医療機関内でのGS1標準の利用推進に対し、セミナーや学会での広報活動などを通じて貢献いただいている。

### 田中聖人氏 (京都第二赤十字病院 医師)

京都第二赤十字病院の医師として医療材料のGS1-128シンボルや医療用医薬品のGS1データバーの院内利用を開始するなど、これまでGS1標準の積極的な利用を進めていただいた他、GS1 Japanの研究委員会や協議会には設立当時より参加いただくなど、GS1標準の普及と患者安全に尽力されてきた。さらに、GS1の国際会議を含む多くの学会での講演を通じて、医療機関内でのGS1標準利用に関して多大な貢献をいただいている。

### 慶応義塾大学 Auto-ID ラボ・ジャパン (代表 村井純氏)

IoTの実現を目指して、GS1の

EPC/RFID関連標準をベースにしたモノと情報システムの連携を研究されている。技術開発だけではなく、省庁などの実証実験を通じて、EPC/RFIDとインターネット技術を組み合わせたトレーサビリティ・システムなどの実装をされてきた。

また、RFIDの国内利用に関する技術仕様の制定にも携わるなど、IoT活用の土台となる環境作りにも貢献されている。

## 来賓あいさつ

感謝状贈呈式の後、経済産業省 商務・サービスグループ消費・流通政策課長 物流企画室長(併) 中野剛志氏よりあいさつと乾杯の発声をいただいた。



経済産業省 中野剛志氏

懇親会は終始和やかな雰囲気の中で行われ、盛況のうちに終了した。

(広報・ブランディング推進室)

# GS1 バーコードで出荷精度 99.99999%

## — 東邦薬品 TBC 埼玉物流センター 見学レポート —

2022年12月1日に医療用医薬品や医療機器等へのGS1バーコード表示が義務化されてから1年がたった。以前より医療用医薬品へのバーコード表示率は高い水準であったが、義務化されることにより、バーコードが患者安全やトレーサビリティ確保のインフラとして動き出したといえる。

医薬品卸売事業大手の東邦薬品(株)(以下、東邦薬品)はGS1バーコードをフル活用した物流センターのオペレーションにより、出荷精度99.99999%(セブン9)を達成している。環境や顧客ニーズの変化などに対応し続ける物流センターをレポートする。

### 東邦薬品(株) 会社概要

東邦薬品は、東京に本社を置く医薬品卸売事業会社である。

「いついかなるときも医薬品等を安定供給する」という使命の下、さまざまな状況に対応し得る物流システムを構築している。そのツールとなっているのが商品にソースマーキングされているGS1バーコードである。

ヘルスケア分野で使われるGS1バーコードにはその商品の識別コード(GTIN)だけではなく、ロット番号や有効期限等も表現されている。そのため、東邦薬品の物流センターでは全商品においてロットおよび使用期限別の在庫管理を実施し、



写真1 TBC 埼玉物流センター

顧客への納品時にはロット番号を含めた商品情報を提供している。

### TBC 埼玉物流センター

今回、見学に訪れたのは埼玉県久喜市にあるTBC 埼玉物流センターである(写真1)。3階建てのセンターは2013年12月に稼働を開始し、10年目を迎えた。2万8000品目に及ぶ商品を保管しており、ピッキングや積み付け作業には効率化、省人化のためにロボットを導入している。2014年には経済産業省のロボット大賞優秀賞を受賞している。

配送範囲は東京の一部や北関東、千葉の一部、青森や岩手等の東北地方、新潟など広範囲に及ぶ。

一度に大型車8台の受け入れが可能な1階では、毎日300社の製薬会社から商品の入庫があり、商品の元梱包装単位に表示されているGS1-128シンボルを読み取り、その商品のロット番号や有効期限がデータ化される。

2階で行われている自動ピッキング作業では、自動倉庫を活用した効率的で正確な入出荷作業や、医薬品の重さや形状のデータを活用したロボットピッキングを実現している(写真2)。ピッキングの確認時には必ず販売包装単位に表示されているGS1データバー合成シンボルが読み取られている。

3階で行われる手作業ピッキングで扱う商品には一部ロット番号や賞味期限等のバーコード表示がされていないものもある。例えば、病院で提供される離乳食などで、これらは医療用医薬品ではないため、GTINのみをJANシンボルで表示している。そのため、現在はロット番号や

賞味期限を目視確認しているが、医療用医薬品同様のバーコード表示があればさらなる効率化が可能であると担当者は話す。



写真2 ロボットピッキング

### 新たな取り組みの拡大

通常、物流センターでピッキングされた医薬品は、各営業所への配送、営業所から医療機関への配送と検品を経てようやく納品となる。しかし、この手間をなるべく軽減するために、二つの試みが拡大している。

#### ① ノー検品

高い出荷精度を実現しているため、一部顧客とは納品時の検品を取りやめ、双方の業務負担軽減を図っている。現在1700以上の拠点でノー検品を行っている。

#### ② 配送センターからの直送

一部取引先には営業所を介さずに物流センターから直接商品を納品し、リードタイム短縮を実現している。

また、東邦薬品は2020年9月に東京都大田区にTBCダイナベースを新設し、ロボットピッキング率95%の最新式物流センターを稼働させている。首都圏災害を想定した対応基盤を備え、共同物流を実施するなど、未来を見据えた物流センターである。

安全・安心と業務効率化、そのどちらも可能にするGS1バーコード、ヘルスケア分野はもとより広い分野での活用が期待される。

(グロサリー業界グループ 分部)



# GS1 事業者コード申請手続きに関する Q & A

## — 2023年10月からのインボイス制度対応について —

2023年10月から適格請求書等保存様式（インボイス制度）が開始されました。これに伴い、GS1 事業者コードの登録事業者の皆さまからのお問い合わせも増えています。お問い合わせの多い内容を中心に紹介します。

**Q-1 GS1 事業者コードの新規（もしくは更新）申請をしています。適格請求書を発行してもらえますか。**

**A-1** はい、GS1 事業者コードの新規や更新などの申請手続きの完了後に、適格請求書（インボイス）の要件を満たす「申請料確定明細書」（図1）を発行します。本書類は、ポータルサイト My GS1 Japan（図2）の「GS1 事業者コードの各種手続き」メニューからダウンロードできます。ダウンロード手順は以下の通りです。

① **My GS1 Japan へのログイン ID、パスワードを確認する**

当財団で申請手続きと申請料の入金を確認後、GS1 事業者コード登録通知書を郵送します。登録通知書に My GS1 Japan ログイン ID、パスワードが記載されています。到着の目安は、当財団からの申請手続き完了メール受信後、7営業日前後です。

② **My GS1 Japan から「申請料確定明細書」をダウンロードする**  
My GS1 Japan にログイン ID、パスワードを使ってアクセスします (<https://mygs1.gs1jp.org/>)。

ログイン後、「GS1 事業者コードの各種手続き」メニューを選択し、「申請料確定明細書」をダウンロードしてください。ダウンロード可能回数制限とダウンロード期限がありますのでご注意ください。

**Q-2 登録申請料の振込依頼書（請求書）はインボイスに対応していますか。**

**A-2** 申請手続き中に利用可能な登録申請料の請求書単体では、インボイス要件の全ては満たしません。GS1 事業者コード関連手続きのインボイスは、手続き完了後に発行する「申請料確定明細書」です。これは GS1 事業者コードの手続きが事前入金制で、インボイスの要件である取引年月日が手続き完了後に決まるためです。必要な要件が満たされていれば、請求書以外の書類でも適格請求書として認められています。詳しくは、国税庁のウェブサイトを参照ください。

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/qa/25.pdf>

**Q-3 「申請料確定明細書」には何が記載されていますか。**

**A-3** 次の項目が記載されます。

①「発行事業者名（当財団名）」

- ②「登録番号（T で始まる 13 桁、当財団の番号）」  
③「取引年月日（手続き完了日）」  
④「取引内容」  
⑤「対価金額」  
⑥「適用税率」  
⑦「消費税額」  
⑧「書類の交付を受ける登録事業者名」

「申請料確定明細書」に記載されている上記項目は、図1の通りです。

「申請料確定明細書」に関して、ご不明な点があれば、下記よりお問い合わせください。

<https://www.gs1jp.org/contact/index.html>

（コード登録管理グループ）

申請料確定明細書		発行日	2023年10月2日	01
⑧ (株)GS1 JAPAN 御中 件名: GS1事業者コード登録申請料は下記の通り		発行番号	01INV-50019999901	
¥27,500-				
⑥	消費税10%対象	¥25,000-		
⑦	消費税額	¥2,500-		
④ 内訳 【GS1事業者コード登録申請料】				
内容	貸与期間	⑤ 申請料(税抜)		
初期申請料	-	¥10,000-		
GS1事業者コード登録管理費	2023/10/2~2026/10/31	¥15,000-		

② 登録番号 (T1010405010410)  
〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル 東館9F  
GS1事業者コード担当 TEL 03-5414-8511  
MAIL [gcp@gs1.jp](mailto:gcp@gs1.jp)

③ 取引年月日 (手続き完了日) 2023年10月2日

① GS1 Japan 一般財団法人 流通システム開発センター

図1 申請料確定明細書（適格請求書）みほん



図2 My GS1 Japan トップメニュー画面

# 「GS1 Japan Data Bank - 商品情報 -」 に関する Q&A

GS1 Japan Data Bank（以下  
ジーエスワン  
GJDB）- 商品情報 - は、2019 年  
10 月にリリースされた当財団が運  
営・管理する商品情報のデータベ  
ースサービスです。サービス提供開始  
から、はや 4 年が経過し、GTIN  
(JAN コード) の登録件数は約  
350 万件、登録を行っている事業  
者（ブランドオーナー）の数は約 3  
万 5000 社にまで伸び、GJDB- 商  
品情報 - は多くの事業者に活用して  
いただいています。本稿では、  
GJDB- 商品情報 - に関して事業者  
から寄せられる質問の中で、特に多  
い二つを取り上げ、その回答を紹介  
いたします。

## Q-1 GJDB- 商品情報 - を活用し て、GTIN の登録・管理を行うメリ ットはなんですか？

A-1 GTIN の登録・管理を容易か  
つ正確に行えることです。

GTIN は、「①GS1 事業者コード」  
「②商品アイテムコード」「③チェッ  
クデジット」の三つの要素で構成さ  
れています（図 1 参照）。GJDB-  
商品情報 - を活用しない場合は、②  
を自社内で他の商品と重複しないか  
確認した上で設定し、③は、所定の  
計算式、もしくは当財団のホーム  
ページで提供する機能などで計算す  
る必要があります。

GJDB- 商品情報 - を活用すれば、  
商品の基本的な情報を入力するだけ  
で、ブランドオーナーにとっては煩  
雑な作業である②の設定と、③の計  
算を GJDB- 商品情報 - が自動で行  
うため、容易に GTIN を発行（自  
動付番）<sup>(注)</sup> することができます。  
GJDB- 商品情報 - では、同じ  
GTIN で複数の商品情報の登録を行  
えない仕組みとなっているため、異  
なる商品を重複した GTIN で設定

してしまう、ということも防ぐこと  
ができます。

また、自社内の GTIN の管理を、  
表計算ソフトや紙の台帳などで行っ  
ている場合、PC の故障や台帳の紛  
失などで、その記録を消失してしま  
った、といった事態が発生する可能  
性があります。GJDB- 商品情報 -  
を活用すれば、自社内の PC や台帳  
の存在に頼ることなく、GTIN の管  
理を持続的に行うことができます。

(注) 自社内で設定した GTIN (既存商品)  
が存在する場合には、GJDB- 商品情  
報 - の自動付番機能を利用する前に、  
あらかじめ、既存商品の GTIN を  
GJDB- 商品情報 - に手動付番で登録  
する必要があります。

## Q-2 GJDB- 商品情報 - に登録し た商品情報は、どのように連携(PR) されますか。

A-2 当財団や GS1 本部が運営す  
る以下のサービスに連携されます。

- ・ JICFS/IFDB (JAN コード統合  
商品情報データベース)
- ・ GEPIR (GS1 登録事業者情報検  
索サービス)
- ・ GJDB × scan (スマートフォン  
アプリ)

・ GS1 Registry Platform (GS1  
本部が運営するデータベース)

上記サービスに連携されること  
で、自社の商品情報の露出が増える  
ため、PR につながります。

また、スマートフォンアプリの  
「GJDB × scan」では「商品コメ  
ント（商品の特徴やキャンペーン情  
報など）」も、合わせて表示できる  
ことから、商品のラベル上では表現  
しきれなかった事柄も「GJDB ×  
scan」経由で PR することができます。

なお、「GS1 Registry Platform」  
に連携された商品情報は「Verified  
by GS1」というサービスで、検索、  
確認することができます。Verified  
by GS1 では、GJDB- 商品情報 -  
に登録されている商品情報が図 2  
のように、文字情報だけでなく、登  
録があれば画像情報も表示されま  
す。Verified by GS1 は、ブラン  
ドオーナー発信の信頼性のある商品  
情報を確認することが可能なサービ  
スとしても期待されており、さらなる  
展開が見込まれています。

(データバンクビジネスグループ  
高岡)



図 1 GTIN-13 コード体系 (9桁 GS1 事業者コードの場合)



図 2 Verified by GS1 商品情報画面

# サプライチェーン可視化のための GS1 標準 EPCIS に関する Q&A

## Q-1 EPCIS とは何ですか？

**A-1** EPCIS は、モノの移動に関する情報を共有、交換することでサプライチェーンの可視化を行うための標準仕様です。

モノに対して発生した作業（イベント）を、標準化された項目と語彙を用いて表現します。また、その情報を取引先間で共有、交換する方法を規定しています。これにより、サプライチェーン上で発生するモノの移動に関する情報（イベントデータ）を、共通の方法で記録し、共通の方法で取得できるようにしています。

## Q-2 EPCIS ではどのようなデータを入力・出力できますか？

**A-2** 基本的には、何が、いつ、どこで、どうした（What, When, Where, Why）という 4W のデータがイベントデータとしてまとめられており、どのような名前のデータ項目にどのようなデータを記録するかが決められています。

## Q-3 EPCIS で標準化しているものを教えてください。

**A-3** イベントデータのデータ項目、書式を標準化しています。EPCIS の規定に従って作成したイベントデータを EPCIS イベントと呼びます。

また、EPCIS イベントで使用する語彙は、コア・ビジネス・ボキャ

ブラリ標準（CBV 標準）として標準化しています。EPCIS は、この CBV 標準と組み合わせて用いることが想定されています。

さらに、EPCIS を利用するためには、EPCIS イベントを蓄積する機能に加え、それに対して EPCIS イベントを生成して投入する機能と、EPCIS イベントを検索・取得する機能が必要です。そのための手順、すなわち API を EPCIS キャプチャインタフェース・クエリインタフェースとしてそれぞれ標準化しています（図）。

## Q-4 EPCIS イベントを蓄積する情報システムは、各社で用意するのでしょうか？

**A-4** 業界として一つの情報システムを用意する、あるいは、業界の中でも国ごと、企業ごとに情報システムを用意して必要に応じて EPCIS イベントを取得するなど、適した方法を選択することが可能です。

## Q-5 EPCIS を活用するメリットを教えてください。

**A-5** 標準仕様のため、データ連携時のデータ変換が不要な点です。サプライチェーン上のイベントを共通の方法で記録し、共通の方法で取得できるようにするので、企業間のデータ連携が容易になります。情報をひとまとまりのイベントとして記

録し、企業を跨いだサプライチェーンの可視化を実現できます。他にも、取得したデータをさまざまな用途で使い回すことができる点も挙げられます。例えば、トレーサビリティデータとして収集したデータをそのまま在庫管理のためのデータとして活用することが可能です。無駄なく効率的なデータ活用ができます。

## Q-6 公開したくないデータも公開されてしまうのでしょうか？

**A-6** EPCIS 標準は、イベントの内容と共有方法を定めているだけであり、イベントの公開を必須とはしていません。記録したイベントを誰に、どこまでの範囲で共有するかは記録の管理主が決定します。

## Q-7 EPCIS の活用事例はありますか？

**A-7** 食品トレーサビリティシステムや規制対応での活用事例があります。ドイツの fTRACE は、食品トレーサビリティのためのクラウド EPCIS プラットフォームです。消費者はスマートフォンで二次元バーコードを読み取ることで原産地、加工地、お勧めレシピなどの情報を参照できます。規制対応としては、アメリカでは偽造薬流通防止に、イギリスでは違法タバコ流通防止に EPCIS が活用されています。

日本では、コンビニのデータ連携実証実験で EPCIS が使われました。

## Q-8 EPCIS の標準仕様はどこで入手できますか？

**A-8** GS1 本部が提供しています。標準仕様の最新版 EPCIS2.0 と CBV2.0 を公開しています（英語）。  
<https://www.gs1.org/standards/epcis>

（RFID・デジタル化推進グループ）

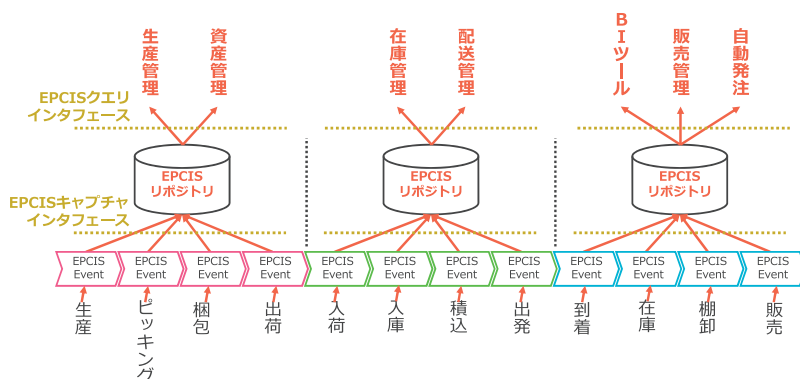


図 EPCIS キャプチャインタフェース・クエリインタフェース





GS1 Japan  
パートナー会員

# 新規会員募集中！



流通業における情報システム化に関わる各種キーワード（GS1 標準、EPC、EDI など）を中心として、最新のシステム技術、システム化事例、業界動向、国際動向などの情報を共有し、流通業界全体のシステム化、標準化を推進することを目的とします。

※ 見学会につきましては、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、実施するか検討しております。

## 2022年度イベント実績

GS1 Japan  
パートナー会員制度の  
詳細はウェブで



開催日	イベント名	主なテーマ・議題
2022 /6/21	第1回セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流で使える！GS1 識別コード</li> <li>GS1 識別コードからウェブへつながる「GS1 Digital Link」</li> </ul>
2022 /7/27	第1回特別セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における 流通と消費の展望</li> </ul>
2022 /8/9	第2回特別セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>GS1 Japan と JII およびプラネットの商品情報共同取り組みについて</li> <li>日用品化粧品業界における商品情報の取り組み 業界が支えるプラネットの商品データベース</li> <li>食品の商品マスターの流通 DX の方向性について</li> </ul>
2022 /10/14	<一般公開セミナー> GS1 標準によるDX, オムニチャネル環境 の業務革新 2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な EC 運営を通じて見えてきた今後の潮流と課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商品 ID の統合が実務に与える影響について考える -</li> </ul> </li> <li>世界のネット販売で利用拡大する GS1 標準</li> <li>マスターデータだけじゃない！情報システム構築に関する GS1 標準とその利用可能性</li> <li>GS1QR による B2C での実施事例報告               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 製品トレーサビリティによる消費者と事業者のインセンティブ -</li> </ul> </li> </ul>
2022 /10/18	第2回セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>GLN（企業・事業所識別コード）の概要と利活用の期待</li> <li>EPC タグ・データ標準 2.0 のご紹介</li> </ul>
2022 /11/22	第3回セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例をたっぷりご紹介！ PoS レジで読み取る商品に表示する GS1 二次元シンボルの最新動向</li> <li>米国における GS1 標準を活用した業務効率化や安全性向上の取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>- GS1 Connect 2022 参加レポート -</li> </ul> </li> </ul>
2022 /12/20	第4回セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>GS1 事業者コードの最新動向</li> <li>GS1 事業者コードの登録から GTIN 設定までの流れ</li> </ul>
2023 /2/21	第5回セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレーサビリティに！業務効率化に！人手不足に！ GTIN+ 属性情報を表示する GS1 標準バーコードのつくりかた</li> </ul>

